

**令和 7 年度版
(2025 年度版)**

熊本県男女共同参画年次報告書

熊本県

はじめに

日本社会は、少子高齢化の進行や経済活動のグローバル化など、急速な変化に直面しています。こうした中、政府は女性の活躍を主要施策として位置付け、機運醸成やキャリア形成を支える環境づくりを進めてきました。平成27年（2015年）9月には「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」が施行され、続いて平成30年（2018年）5月には「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が施行されるなど、国全体で男女共同参画、女性活躍の推進が図られています。

本県においては、平成13年（2001年）に「熊本県男女共同参画推進条例」を制定し、これに基づき「熊本県男女共同参画計画」を策定しました。令和3年（2021年）4月からの5年間は第5次計画に基づき、男女共同参画、女性活躍の推進に取り組んできました。また、この5年間の取組の成果と課題を踏まえ、令和8年度から12年度までの5年間を計画期間とする「第6次熊本県男女共同参画計画」を策定したところです。

平成26年（2014年）8月には、国に先駆けて産学官等の連携による「熊本県女性の社会参画加速化会議」を設置し、会議参加団体が連携して取り組む施策・事業を取りまとめた「熊本県女性の社会参画加速化戦略」を都道府県で初めて策定し、経済・労働分野における女性の社会参画の加速化に積極的に取り組んでいます。

これらの取組により、本県における男女共同参画社会づくりは着実に進展し、県民の意識も高まりつつあります。一方で、根深い固定的性別役割分担意識や、政策・方針決定過程への女性の参画、就業・雇用における男女間格差、家事・育児等の女性への偏りなど、多くの課題が残っています。

さらに、都市圏への人口流出、とりわけ地方における若年層の転出超過の一つの要因に、地元に残る固定的性別役割分担意識が指摘されています。若者・女性に選ばれる熊本を実現するためにも、働き方改革と併せて固定的性別役割分担意識の解消に取り組むことが重要です。

この年次報告書は、「熊本県男女共同参画推進条例」に基づき、本県における男女共同参画の推進状況を取りまとめたものです。本書が、本県の男女共同参画、女性活躍の現状や関連施策への理解と関心を深めていただく契機となり、今後の各分野における取組の更なる推進につながることを期待しています。

最後に、本書の取りまとめに当たり、内容全般にわたり御審議をいただきました熊本県男女共同参画審議会の委員の皆様に、深く感謝申し上げます。

令和8年（2026年）3月

熊本県環境生活部長 清田 克弘

目次

第1章 熊本県における男女共同参画社会づくりの状況

○男女共同参画社会実現に向けた動き	1
○第5次熊本県男女共同参画計画の基本的な考え方	2
第1 熊本県の人口・人口構成等	
1 熊本県の人口	
(1) 総人口	5
2 熊本県の人口構成	
(1) 男女別人口	6
(2) 年齢別人口	6
(3) 高齢化率	7
(4) 合計特殊出生率	7
3 熊本県における結婚・離婚	
(1) 平均初婚年齢	8
(2) 婚姻率・離婚率・未婚率	8
第2 熊本県男女共同参画計画の4つの重点目標ごとの現状	
I あらゆる分野における女性の参画拡大	
1 国際的な状況	
(1) 日本の女性の参画状況	10
2 政策・方針決定の場における状況	
(1) 女性の地位向上に関する考え方	11
(2) 審議会等委員に占める女性の割合	12
(3) 熊本県における女性の参画状況	13
(4) 市町村における女性の参画状況	14
(5) 教育分野における女性の参画状況	14
(6) 政治における女性の参画状況	16
(7) 県内事業所における管理職に占める女性の割合	16
(8) 大学・短期大学等の教員における女性の参画状況	17
3 就業・雇用分野における状況	
(1) 雇用者に占める女性の割合	17
(2) 労働者の雇用形態	18
(3) 男女別所定内給与	18
(4) 男女別平均勤続年数	19
トピック①	19
4 農林水産業における状況	
(1) 農林水産業における女性の参画状況	20
5 地域における状況	
(1) 地域活動における女性の参画状況	21
II 男女共同参画の視点からの安全・安心な暮らしの実現	
1 女性に対する暴力の状況	
(1) DV（ドメスティック・バイオレンス）	22
(2) ストーカー・性犯罪	24
トピック②	24
2 自殺、児童虐待の状況	
(1) 自殺者数の推移	25
(2) 児童虐待相談件数の推移	25
3 女性の健康の状況	
(1) 人工妊娠中絶件数・実施率	26

(2) 子宮がん（子宮頸がん）、乳がんの検診受診率・死亡率……………	27
4 地域の防災力における状況	
(1) 地域の防災における女性の参画状況……………	28
III 男女共同参画社会実現のための意識改革・就業環境の充実	
1 県民の男女共同参画に対する意識	
(1) 男女の地位の平等感……………	29
(2) 固定的性別役割分担意識……………	30
(3) 仕事と家庭・地域生活の両立（理想と現実）……………	32
(4) 「男女共同参画社会」に関する用語の認知度……………	32
2 教育における状況	
(1) 大学等進学率……………	33
(2) 男女混合名簿（出席簿）の使用状況……………	33
(3) 男女共同参画の視点を取り入れた校内研修 （教員向け）を実施した学校数……………	34
3 仕事と生活の両立の状況	
(1) 夫婦の生活時間……………	34
(2) 県内事業所の状況……………	35
(3) 育児休業……………	37
(4) 子育て支援……………	37
IV 推進体制の整備・強化	
1 市町村の取組状況	
(1) 推進体制の整備状況……………	38
(2) 男女共同参画宣言……………	39
2 県民、NPO等との協働による取組状況	
(1) 男女共同参画推進団体数……………	39
第2章 熊本県が実施した男女共同参画施策の実施状況（令和6年度）	
I 施策評価について……………	40
II 重点目標別施策の実施状況	
1 あらゆる分野における女性の参画拡大……………	45
2 男女共同参画の視点からの安全・安心な暮らしの実現……………	53
3 男女共同参画社会実現のための意識改革・就業環境の充実……………	61
4 推進体制の整備・強化……………	66
第3章 市町村・男女共同参画推進団体・事業所の取組状況	
1 市町村の取組状況……………	69
2 男女共同参画推進団体……………	73
3 熊本県男女共同参画推進事業者表彰……………	74